

～生ごみは 土の力で リサイクル!～

生ごみ処理容器

ミニ・キエーロ

使用マニュアル



令和元年 9 月

国立市生活環境部 ごみ減量課

TEL042-576-2119(直通)



※このマニュアルは、モニターにご参加いただいた市民の皆様のご意見を参考に作成しております。
内容の修正等のご意見がありましたら、ぜひごみ減量課までお寄せください。

1. ミニ・キエーロの紹介

○ミニ・キエーロとは？

プランターに木枠と屋根を取り付けた生ごみ処理機です。容器に入れた土に生ごみを埋めると、土の中の細菌が生ごみを水と二酸化炭素に分解します。自然の力で分解するため、天候や気温に左右されることもありますが、使用方法を守っていただければ、臭いや虫も発生しにくいものです。

神奈川県葉山町で発明された、木枠の中の土に生ごみを埋めて処理する「細菌 de キエーロ」や、「ベランダ de キエーロ」の仕組みを生かし、より手軽に使用できるよう、国立市で小型化・軽量化しました。



▲ミニ・キエーロ(左)とミニ・キエーロL(右)



▲細菌 de キエーロ



▲ベランダ de キエーロ

2. ミニ・キエーロの使用方法

①ミニ・キエーロを準備します

- 容器の8～9分目(内側の線付近)まで土を入れ、日当たりが良く、風通しのいい場所に設置します。なるべく雨が当たらない場所が望ましいです。



分解できる生ごみの量は土の量に比例しますが、入れすぎると穴を掘る場合に邪魔になる場合があります。

- 土を混ぜたり、生ごみを細かく砕くためのスコップも用意してください。鉄製など、硬くてある程度重量のあるしっかりしたものが望ましいです。

※庭土でも分解できますが石などの異物も多いため、ホームセンター等で販売している黒土が最適です。

※粘土質の土や腐葉土、砂、砂利等では分解しません。

※ミニキエーロの種類と容量

種類	サイズ	容量
ミニ・キエーロ	幅 58cm 奥行 39cm 高さ 33cm 程度	約 27ℓ
ミニ・キエーロL	幅 74cm 奥行 45cm 高さ 33cm 程度	約 48ℓ

②投入する生ごみを用意します

- 日々発生する調理くずや食べ残しなど、埋めるための生ごみを用意します。
- 1回あたりの投入できる量は200～300g程度(握りこぶしぐらいの容量)が目安です。
- 調理や食後の片付けの際に、分解しやすいものを分けておくと効率的です。



調理や洗い物の際に、三角コーナー等のほかにキエーロ用の容器を準備し、都度分別しながら作業をすると効率的です。

★分解しやすいもの★

- 細かい(小さい)もの
- 加熱調理をしたもの(残飯)
- 水分が多く柔らかいもの
- カロリーの高いもの

★分解しにくいもの★

- 固いもの
- もともと土の中にあるもの
- 水分が少ないもの

【分解するもの、しない物の例】

◎良く分解するもの	△分解するが時間がかかるもの	×分解しないもの
<ul style="list-style-type: none"> ・ごはんや麺類 ・調理済の肉や魚、野菜 ・天ぷら油などの廃食油 ・すいか等水分が多く柔らかい野菜・果物の皮 ・カレーやシチュー、マヨネーズやドレッシング ・お茶殻、コーヒーかす 	<ul style="list-style-type: none"> ・加熱していない、にんじんやキャベツなどの少し硬い野菜の葉や皮 ・魚などの小さな骨 	<ul style="list-style-type: none"> ・たまごの殻、貝殻 ・玉ねぎ、ニンニク等の水分のない皮 ・トウモロコシやブロッコリーなどの芯 ・枝豆などのさや ・かぼちゃなどの固い種

③生ごみを土に埋めます

①埋める場所を決める



埋める場所は容器を3等分にして、順番にローテーションすることをオススメしています。(Lの場合は4~5等分)

②穴を掘る



20cmほど穴を掘り、掘った土を横に避けます。穴の中を底の方から掘り、土を切るようにして混ぜ空気を含ませると分解が良く進みます。

③生ごみを用意します



④生ごみを投入します



⑤生ごみを埋めます



スコップで細かく碎きながら、穴の中の土と良く混ぜ合わせます。混ぜた土が少し黒っぽくなるくらいの水分量が適切です。足りない場合は水を足します。

⑥土をかぶせます



掘るときに避けておいた土で、生ごみに蓋をします。分解が終わるまで掘り返さないことがトラブルを防ぐコツです。埋め終わったら容器のフタを占めて完了です。

3. よくある質問と回答

① Q. 土は増減しないのですか？

A. 土の中のバクテリアが生ごみを分解し、水と二酸化炭素に分解するため、分解された生ごみは空気に放出され、土は増減しません。



分解が終わると、土の中に左の写真のような灰色や白いカビのようなものがついた土の塊が残ります。細かく砕いて土に混ぜてください。

② Q. どのくらいの時間で分解されますか？

A. 入れる生ごみにもよりますが、夏は1週間、冬は2週間程度が目安で分解がすむまでは掘り返さないことがトラブルを防ぐコツです。容器を3等分にして使う場合、夏場でしたら週に2か所、冬場は週に1か所を目安に使用してください。

③ Q. どのようなトラブルが起きますか？

A. 入れるごみが多すぎたり、ごみが土の表面に出ている場合やごみの水分が多すぎたりする場合に以下のようなトラブルが発生します。

○入れるごみが多すぎる場合や、ごみが表面に出ている場合は、虫が卵を産み付けてしまう場合があります。虫が湧いてしまった場合は熱湯や殺虫剤を欠けていただくか、しばらく土を掘り返さずに放置していただくことで改善します。

○ごみの水分が多すぎる場合、土に空気がいきわたらずに泥のようになり、悪臭がする場合があります。このようなときは土全体を良くかき混ぜて、乾いてから再度ごみを埋めるようにしてください。

ミニ・キエーロは、土の力で生ごみが分解できることを体験いただくために開発したものです。自然の力のため処理できる量に限りがあり、必ずしも家庭から出るすべてのごみを処理できるわけではありませんが、日々の可燃ごみの削減の一助としてご活用ください。

